



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小畑 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 椿 博成 TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 176,310 | 11.4 | 13,891 | 3.6 | 14,537 | 3.6 | 11,810 | 59.2 |
| 25年3月期第2四半期 | 158,291 | 5.9 | 13,404 | 19.5 | 14,034 | 19.7 | 7,420 | 18.5 |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 15,218百万円 (183.3%) 25年3月期第2四半期 5,372百万円 (48.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 115.62 | — |
| 25年3月期第2四半期 | 72.63 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 291,566 | 225,422 | 72.7 |
| 25年3月期 | 274,889 | 209,172 | 72.3 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 211,931百万円 25年3月期 198,684百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 20.00 | — | 30.00 | 50.00 |
| 26年3月期 | — | 25.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 25.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 370,000 | 7.4 | 31,000 | 4.6 | 32,000 | 0.0 | 20,000 | 15.7 | 195.78 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年3月期2Q | 110,881,044株 | 25年3月期 | 110,881,044株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 8,737,737株 | 25年3月期 | 8,724,975株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年3月期2Q | 102,148,657株 | 25年3月期2Q | 102,162,174株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策により円安・株高が進み、企業収益に改善がみられ国内景気は回復の兆しがみえるようになりました。しかしながら、欧米諸国における財政問題等景気を下押しするリスクも存在し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は176,310百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益は13,891百万円（前年同四半期比3.6%増）、経常利益は14,537百万円（前年同四半期比3.6%増）、四半期純利益は11,810百万円（前年同四半期比59.2%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、97.69円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、77.57円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、鮭鱒・魚卵・マグロ等主力商品を中心に量販店・コンビニ等に積極的に販売を進めました。しかしながら、国内におけるイカ・サバ・サンマを中心とした漁獲不振により前浜事業の収益を押し下げました。また、円安や海外の鮭鱒・海老等の漁獲不振により原材料価格が上昇し、コスト上昇分を販売価格へ転嫁することができず、売上高は16,203百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期はセグメント利益161百万円）となりました。

海外即席麺事業は、大手量販店との連携強化や、主力製品及び新カテゴリーのヤキソバ、ボウルの積極的な販売活動により、主に中米・南米を中心に販売数量が堅調に推移したこと及び前期と比較した円安の影響により売上高は35,257百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。セグメント利益は、新カテゴリー導入と積極的な販売活動により販売促進費が増加しましたが、円安の影響により6,206百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

国内即席麺事業は、袋麺では、4月発売の「マルちゃん正麺 冷し中華」の売上数量が3千万食を超える大ヒットとなり、また8月の「マルちゃん正麺 味噌味」のリニューアル効果により、マルちゃん正麺が累計出荷数5億食を目前にしており（10月4日に達成）、売上と利益に貢献しました。カップ麺では、基幹商品である「赤いきつねうどん」「緑のためぎ天そば」が最需要期に向け堅調に推移したこと、また、ノンフライカップ麺の「麺づくり」も新フレーバーの発売等が寄与し、大きく伸張したことから、カップ麺全体では順調に推移しました。その結果、売上高は53,748百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント利益は4,465百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

低温食品事業は、生麺では主力の3食焼そば類が季節限定品の発売等により順調に推移しました。生ラーメン類は競合品との価格競争により苦戦しましたが、春夏新製品の「ナポリタンスパゲッティ3人前」や、レンジタイプの和風麺が伸張し売上に寄与しました。冷凍食品類では、市販用が厳しい状況でしたが、業務用が冷凍麺を中心に、新たに惣菜向けの販売強化や外食産業への商品提案活動により堅調に推移しました。その結果、売上高は33,034百万円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は1,764百万円（前年同四半期比15.2%減）となりました。

加工食品事業は、主力の米飯製品は無菌米飯を中心に積極的に販売活動を行い増収となりました。フリーズドライ製品はカップ入りや袋入りの製品が順調に推移しました。魚肉ハムソーセージは卸売価格の値下げにより減収となりました。調味料はだしの素や削り節市場が縮小しており減収となりました。その結果、売上高は8,585百万円（前年同四半期比3.0%増）となりましたが、原料米やかつお節等の価格高騰もあり、セグメント損失は103百万円（前年同四半期はセグメント損失26百万円）となりました。

冷蔵事業は、暑夏により夏季商材のアイスクリームの取扱いが順調に推移したことや、円安の影響が心配された輸入品も例年並の荷動きで推移したことで、売上高は7,935百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。セグメント利益は、電力料金の値上げによる動力費の増加等もありましたが、省エネ対策等を実施した結果、762百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は21,569百万円（前年同四半期比34.0%増）、セグメント利益は955百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は16,677百万円増加し、291,566百万円、純資産は16,250百万円増加し、225,422百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に有価証券、商品及び製品、建設仮勘定が増加し、現金及び預金が減少しました。負債は、主に支払手形及び買掛金が増加し、その他が減少しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は72.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ25,342百万円（49.4%）減少し、25,998百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ72百万円（0.5%）増加の14,881百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益、たな卸資産の増加及び売上債権の減少によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ26,030百万円（226.3%）増加の37,533百万円となりました。これは主に有価証券の取得による支出の増加によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ1,269百万円（59.3%）増加の3,408百万円となりました。これは主に配当金の支払額の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が想定した範囲内で推移しているため、平成25年5月15日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 50,496 | 47,984 |
| 受取手形及び売掛金 | 45,948 | 44,710 |
| 有価証券 | 27,501 | 35,501 |
| 商品及び製品 | 15,355 | 18,149 |
| 仕掛品 | 223 | 332 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,596 | 5,442 |
| 繰延税金資産 | 1,737 | 1,943 |
| その他 | 4,010 | 3,343 |
| 貸倒引当金 | △507 | △513 |
| 流動資産合計 | 149,361 | 156,895 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 43,724 | 42,950 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 24,489 | 23,860 |
| 土地 | 28,995 | 29,623 |
| 建設仮勘定 | 3,633 | 11,771 |
| その他（純額） | 1,419 | 1,581 |
| 有形固定資産合計 | 102,262 | 109,786 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 2,349 | 2,449 |
| 無形固定資産合計 | 2,349 | 2,449 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 18,385 | 19,748 |
| 繰延税金資産 | 1,818 | 1,921 |
| その他 | 711 | 765 |
| 投資その他の資産合計 | 20,915 | 22,434 |
| 固定資産合計 | 125,527 | 134,671 |
| 資産合計 | 274,889 | 291,566 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 21,711 | 23,005 |
| 短期借入金 | 212 | 191 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 122 |
| 未払費用 | 17,705 | 17,459 |
| 未払法人税等 | 4,108 | 4,053 |
| 未払事業所税 | 62 | 28 |
| 未払消費税等 | 554 | 480 |
| 繰延税金負債 | 3 | 3 |
| 役員賞与引当金 | 198 | 101 |
| 固定資産撤去費用引当金 | 171 | 15 |
| その他 | 2,437 | 1,498 |
| 流動負債合計 | 47,167 | 46,959 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 65 |
| 繰延税金負債 | 1,177 | 1,260 |
| 退職給付引当金 | 16,232 | 16,509 |
| 役員退職慰労引当金 | 140 | 243 |
| 負ののれん | 225 | 150 |
| 資産除去債務 | 309 | 315 |
| その他 | 465 | 641 |
| 固定負債合計 | 18,550 | 19,185 |
| 負債合計 | 65,717 | 66,144 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,969 | 18,969 |
| 資本剰余金 | 22,516 | 22,516 |
| 利益剰余金 | 171,246 | 181,346 |
| 自己株式 | △8,145 | △8,186 |
| 株主資本合計 | 204,586 | 214,645 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,185 | 3,086 |
| 繰延ヘッジ損益 | 32 | △2 |
| 為替換算調整勘定 | △8,120 | △5,798 |
| その他の包括利益累計額合計 | △5,902 | △2,714 |
| 少数株主持分 | 10,487 | 13,490 |
| 純資産合計 | 209,172 | 225,422 |
| 負債純資産合計 | 274,889 | 291,566 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 158,291 | 176,310 |
| 売上原価 | 99,205 | 109,950 |
| 売上総利益 | 59,085 | 66,360 |
| 販売費及び一般管理費 | 45,680 | 52,468 |
| 営業利益 | 13,404 | 13,891 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 126 | 133 |
| 受取配当金 | 168 | 195 |
| 持分法による投資利益 | — | 7 |
| 貸貸収入 | 203 | 220 |
| 雑収入 | 373 | 313 |
| 営業外収益合計 | 872 | 869 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 3 |
| 貸貸収入原価 | 46 | 49 |
| 為替差損 | 75 | 76 |
| 持分法による投資損失 | 12 | — |
| 支払補償費 | 2 | 47 |
| 雑損失 | 101 | 46 |
| 営業外費用合計 | 242 | 223 |
| 経常利益 | 14,034 | 14,537 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 1,826 |
| 受取補償金 | 42 | — |
| 補助金収入 | — | 1,192 |
| 負ののれん発生益 | — | 641 |
| その他 | 3 | 86 |
| 特別利益合計 | 48 | 3,747 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 309 | 52 |
| 投資有価証券評価損 | 823 | 8 |
| 減損損失 | 1 | 9 |
| その他 | 14 | 8 |
| 特別損失合計 | 1,148 | 78 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,934 | 18,206 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,416 | 6,237 |
| 法人税等調整額 | △118 | △45 |
| 法人税等合計 | 5,297 | 6,191 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,636 | 12,014 |
| 少数株主利益 | 216 | 204 |
| 四半期純利益 | 7,420 | 11,810 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,636 | 12,014 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 290 | 912 |
| 繰延ヘッジ損益 | △307 | △34 |
| 為替換算調整勘定 | △2,239 | 2,321 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △8 | 3 |
| その他の包括利益合計 | △2,264 | 3,203 |
| 四半期包括利益 | 5,372 | 15,218 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,176 | 14,998 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 195 | 219 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,934 | 18,206 |
| 減価償却費 | 5,106 | 5,173 |
| 減損損失 | 1 | 9 |
| 負ののれん発生益 | — | △641 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 12 | △7 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 823 | 8 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 248 | 263 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △11 | 9 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △107 | △97 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △8 | △10 |
| 受取利息及び受取配当金 | △295 | △328 |
| 支払利息 | 2 | 3 |
| 為替差損益 (△は益) | 75 | 76 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 306 | △1,773 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 4,450 | 3,568 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △464 | △2,773 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △609 | 7 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △1,095 | △1,199 |
| その他 | △36 | 195 |
| 小計 | 21,331 | 20,690 |
| 利息及び配当金の受取額 | 265 | 294 |
| 利息の支払額 | △2 | △3 |
| 災害損失の支払額 | △111 | — |
| 法人税等の支払額 | △6,672 | △6,098 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,809 | 14,881 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,767 | △918 |
| 定期預金の払戻による収入 | 136 | 4,228 |
| 有価証券の取得による支出 | — | △45,000 |
| 有価証券の償還による収入 | — | 12,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △9,817 | △10,821 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 5 | 2,458 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △298 | △436 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △9 | △13 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 6 | 34 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 810 |
| 貸付けによる支出 | △1,055 | △946 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,169 | 1,077 |
| その他 | 126 | △4 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △11,502 | △37,533 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 915 | 609 |
| 短期借入金の返済による支出 | △830 | △630 |
| 長期借入金の返済による支出 | △12 | △77 |
| 配当金の支払額 | △2,043 | △3,064 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △104 | △116 |
| その他 | △65 | △129 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,139 | △3,408 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △741 | 717 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 425 | △25,342 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 39,402 | 51,341 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 39,828 | 25,998 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------|---------|--------------|---------|--------------|-----------------------------------|
| | 水産食品 事業 | 海外即席 麺事業 | 国内即席 麺事業 | 低温食品 事業 | 加工食品 事業 | 冷蔵事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,971 | 28,512 | 49,273 | 32,488 | 8,334 | 7,614 | 142,196 | 16,098 | 158,294 | △3 | 158,291 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 348 | — | 1 | — | 0 | 470 | 819 | 277 | 1,097 | △1,097 | — |
| 計 | 16,320 | 28,512 | 49,274 | 32,488 | 8,334 | 8,084 | 143,016 | 16,376 | 159,392 | △1,100 | 158,291 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 161 | 5,759 | 4,021 | 2,080 | △26 | 726 | 12,723 | 1,051 | 13,775 | △370 | 13,404 |

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△3百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△370百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△610百万円、棚卸資産の調整額△5百万円及びその他の調整額245百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------|---------|--------------|---------|--------------|-----------------------------------|
| | 水産食品 事業 | 海外即席 麺事業 | 国内即席 麺事業 | 低温食品 事業 | 加工食品 事業 | 冷蔵事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,203 | 35,257 | 53,748 | 33,034 | 8,585 | 7,935 | 154,765 | 21,569 | 176,334 | △24 | 176,310 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 358 | — | 1 | — | 0 | 468 | 828 | 257 | 1,086 | △1,086 | — |
| 計 | 16,562 | 35,257 | 53,749 | 33,034 | 8,585 | 8,403 | 155,593 | 21,827 | 177,421 | △1,110 | 176,310 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △8 | 6,206 | 4,465 | 1,764 | △103 | 762 | 13,087 | 955 | 14,042 | △151 | 13,891 |

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△24百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△151百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△399百万円、棚卸資産の調整額12百万円及びその他の調整額236百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。